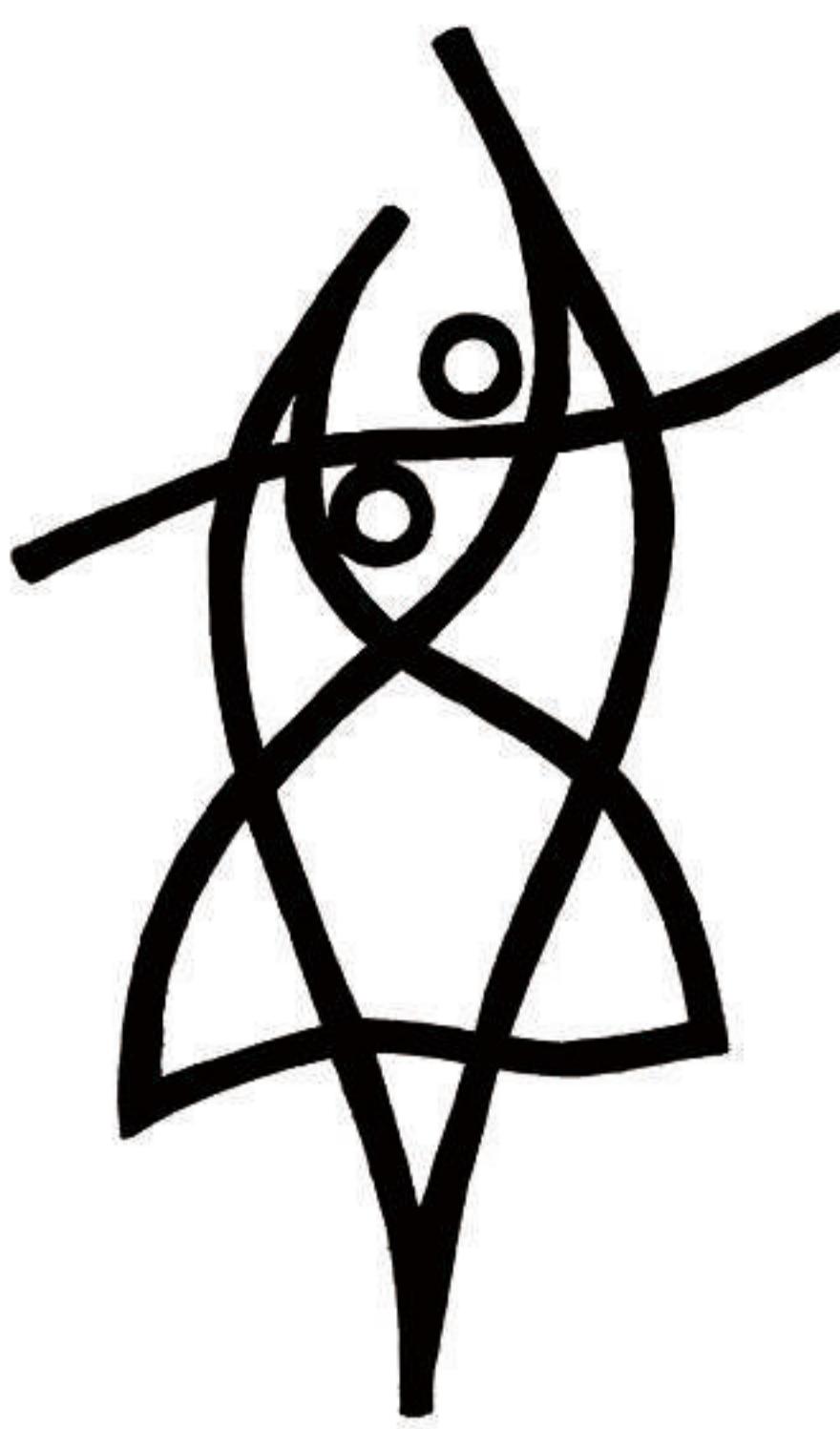


News

SAITAMA
DANCE ASSOCIATION



No.57

一般社団法人
埼玉県舞踊協会
ニュース第57号

2024.04.25



©スタッフ・テス

ごあいさつ

(一社)埼玉県舞踊協会 会長 上原尚美

若草の香る季節になりました今日この頃、舞台活動が活発に開催されていると存じます。

埼玉県舞踊協会は発足から57年になり、令和6年2月1日より一般社団法人となりました。

令和5年11月には文化庁助成事業の一大イベントとなりました沖縄での公演「結・海と空」は、(一社)現代舞踊協会の多大なご協力・ご指導のもと、無事に終えることができました。また令和6年3月は、第56回バレエ・モダンダンスフェスティバルに、驚くほど多くの観客の皆様を迎えて、おかげさまで盛大な公演になりました。本当にありがとうございました。

令和6年度は、6月にステージ1、夏にはコンクールと事業を控え、頑張って参りたいと思っております。いつも皆様の温かいご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

P.2 文化庁後援アートキャラバン2「結・海と空」終演

発行所 一般社団法人埼玉県舞踊協会

P.4 第56回バレエ・モダンダンスフェスティバル開催

発行者 上原 尚美

P.6 芸術文化ふれあい事業

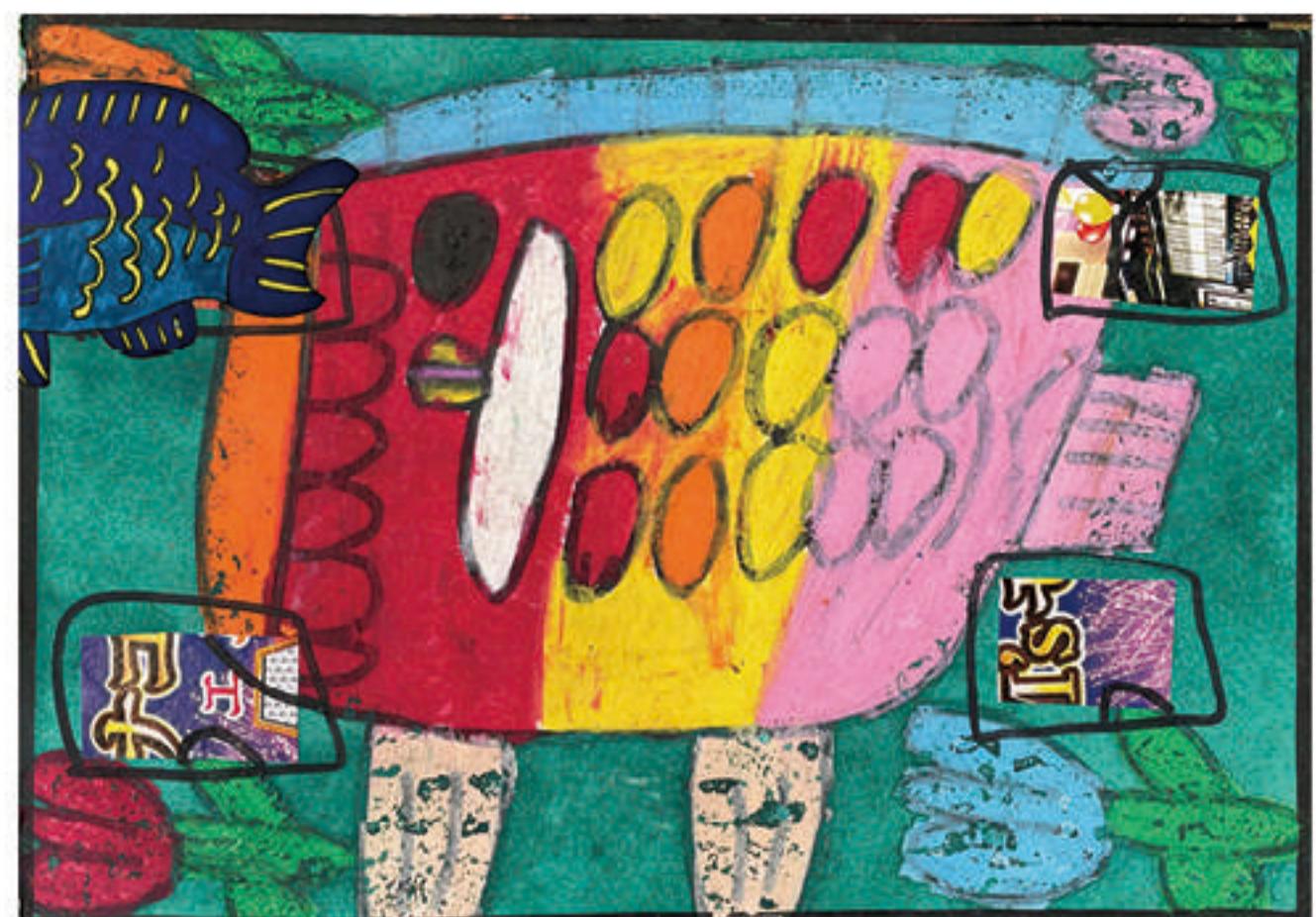
〒 330-0056

P.8 埼玉県文化振興の集い / 協会からのお知らせ / お問合せ

埼玉県さいたま市浦和区東仲町1-16 鳥居ビル3階

編集後記

TEL 048-882-7530 FAX 048-882-7549



結・海と空

主催公演「結・海と空」in OKINAWA

2023年11月5日(日)15:00 開演 那覇文化芸術劇場なはーと 大劇場



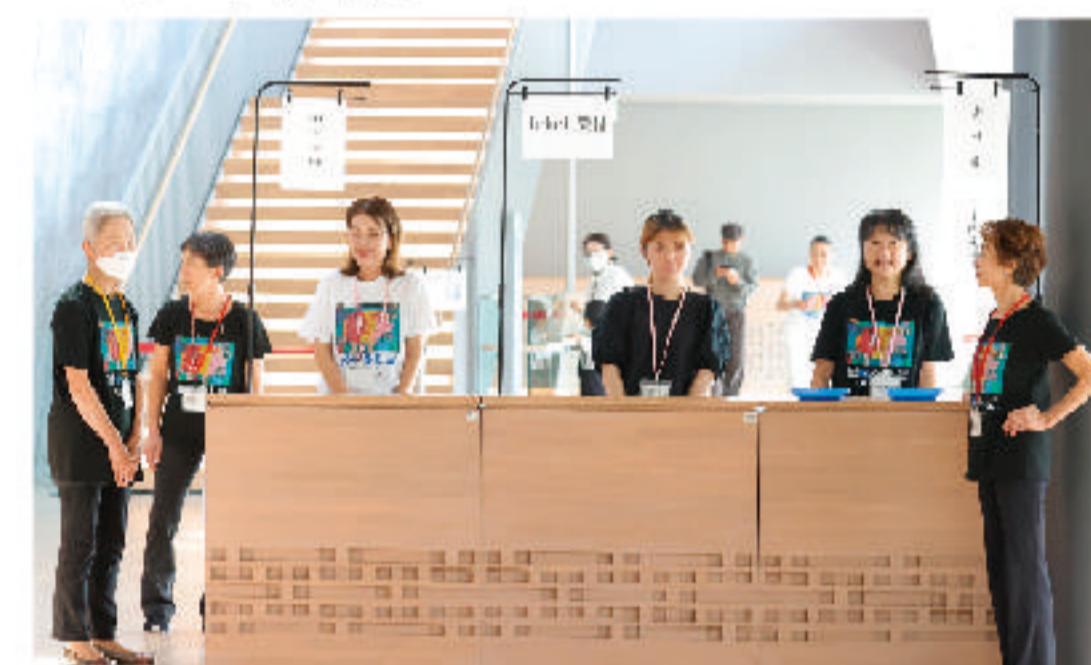
主催：埼玉県舞踊協会 統括団体：一般社団法人現代舞踊協会

後援：沖縄県／那覇市／沖縄県教育委員会／那覇市教育委員会／沖縄県文化協会／那覇市文化協会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2））／独立行政法人日本芸術文化振興会

◀公演Tシャツを着用し、スタッフ・出演者全員で記念撮影

▼協会スタッフが会場受付にてお客様をお出迎え ▼「首里織」の編み方をコンクリートで表現した外観が特徴的な会場



▼アフターパーティーでは沖縄名物ジュースで乾杯！



講評 草あつこ

秋深まり、冬の気配も漂い始める11月5日と言っても、開放的な軽装で充分過ごせる暖かい沖縄。その那覇の中心地に2021年に開館したばかりの「那覇文化芸術劇場なはーと」。ここを会場に、埼玉県舞踊協会沖縄公演「結・海と空」は行われた。文化庁の地域活性化事業（アートキャラバン2）の助成を受けての舞台だ。公演が行われた大劇場は海の中をイメージしているといい、天井は海底から見た海面のゆらめき、客席シートもブルーや紫の濃淡に太陽の光でキラキラと輝くような沖縄の美しい海を思わせるデザインで、開演前から気持ちが高まる。

上演されたのは、埼玉全国舞踊コンクール創作部門の歴代1位受賞者が、共通テーマ「地球を取り巻く様々な事象への視点」で生み出した8つの作品と、総合演出の藤井香振付による最初の「はじまり」と最後の「包括」。テーマに対する振り付け者のアプローチは様々で、自然をテーマにするもの、そのなかに生きる自らを深く見つめるものなど、それぞれの持ち味が活きた。

幕が開くと、藤井香振付「はじまり」。桑田佳祐の「銀河の星屑」のポップな歌詞に合わせて、カジュアルな水着姿の男女が踊る。コメディタッチにも思えるシュールさを持ったダンスで一気に舞台に引き込んだ。

まず、自然災害のなかに神の采配を感じて創られた高橋裕子振付『神の天秤』。2011年の東日本大震災の時に見た光景、生死への想い、生かされた自分は今を大事にという思いを、ロングドレス姿の女性6人で崇高な雰囲気を伴って描いた。続いては富士奈津子振付『しじいがふ一孵果報』。“孵”は鳥の孵化、“果報”は幸せを意味する沖縄の言葉。命あってこそ幸せを掴むことができるといった意味であるようだ。これを富士は、Bobby McFerrinやYo-Yo Maの音楽を使い男女6人のダンサーで描いた。スローモーションのような動きから速さのある動きまでメリハリを持ってこなすダンサーが高いレベルだと感じたとともに、素朴でアジアンな雰囲気の中、回転によって膨らんだ形が目に残る衣装など、総合芸術としての完成度の高さを感じた。原島マヤが振り付けた『生きをする』は、社会のなかで息苦しさを感じながら、緑の木々のまっすぐな伸びやかさに憧れ、木々のように強く根を張って深く息をしたいという思いを表現。“生き”と“息”をかけたタイトルなのだろう。6人のアンサンブルの踊りには迫力を感じた。また、たけだ有里振付の『揺れる境界線』は人魚姿の3人が女性らしい曲線の美しさを持って踊った耽美的な魅力の作品。ダンサーの柔らかさと、生演奏での太鼓の凛とした強い響きのコントラストも良かった。

後半は、高橋純一振付で『期待を胸に何千年も待っている樹だった日のこと』で幕開け。高橋含む男性2人で踊った。どこか総合演出の藤井の作品にも通じるようなひょうきんさのようなものも感じさせ、無垢な子供が遊んでいるような無邪気さが楽しい。鈴木泰介と贊田麗帆が振り付けた『水と光と子供』は、少女から大人まで8人のダンサーによる作品。光る球を大切に掲げるロングヘアの少女、彼女に優しく接する人々——素直な作品。久世亜里沙振付『Limit』は、都会での人と人の関わりを描いているのだろうか。身体能力の高さを感じさせるダンサーが多くスタイリッシュな作品に仕上がっていた。

櫛田祥光振付『糧』は、強烈に記憶に残る迫力を持った作品。ただ、観ていて辛くなる作品でもあった。“糧”というのは、おそらく生きるために糧、動物が獲物を食べなければ命を繋げないことを描いているのだろう。追い詰め、そして他者を食べる。櫛田を含む7人で踊られたが、サディスティックな要素も感じた。そこで、追い詰めるのが男性で獲物になるのが女性という部分が目立つように感じ、まだまだ男女平等とは言えない日本では観ることが辛い気も……。とはいえ、今、“観ることが辛い”と書いたのは、作品に対して否定的というわけではなく、こういった作品も重要なのだと思う。心に刺さるということは、作品に力があり、意義があるということだろう。

そして、ラストは藤井香の『包括』。最初と同じく桑田佳祐の「銀河の星屑」に乗せてこの作品のダンサーたちの気取らない踊りに心をほぐされ、後半には、他の演目のダンサーたちも合流し、盛大なフィナーレとなった。

振付家によるコメント



①高橋裕子作 「神の天秤」

出演 高橋茉那 山田聰子 中村美音 中村香奈子 湯田梨央奈 小関晏奈

初めての沖縄。そして人魚の腕の中に抱かれているような美しい舞台。本当に夢のようなひと時を過ごさせて頂きました。心より感謝致しております。余りにも素敵な作品の数々で、終演の前には既に…もっと沢山の方々に観て欲しい…是非、再演を…と言う思いが湧いてまいりました。また、皆さまとご一緒に同じ舞台に立つ、と言う夢が叶いますように。重ねてありがとうございました。



②富士奈津子作 「しでいがふ一 縛果報」

出演 大前裕太郎 椎野純 森山結貴 小澤早嬉 高橋あかね 富士奈津子

一つのテーマを元に様々なバックグラウンドを持つ其々年齢も性別も違う日本人作家達が作品を作る事。それを沖縄という本土とはまた別の歴史を持つ日本の地で上演するという事。この様な企画の作者としてお声掛け頂き沢山の感謝でいっぱいです。やり甲斐があり、またもっとやり得たのでは無いかと達成感とほんの心残りが胸に涌いております。自身は怪我の手術と妊娠出産のブランクで気が抜けている所にこの公演で喝が入りました。



③原島マヤ作 「生きをする」

出演 佐藤優子 村松千花 金森みづほ 清水綾乃 根岸早苗 矢島茜 佐藤未晏

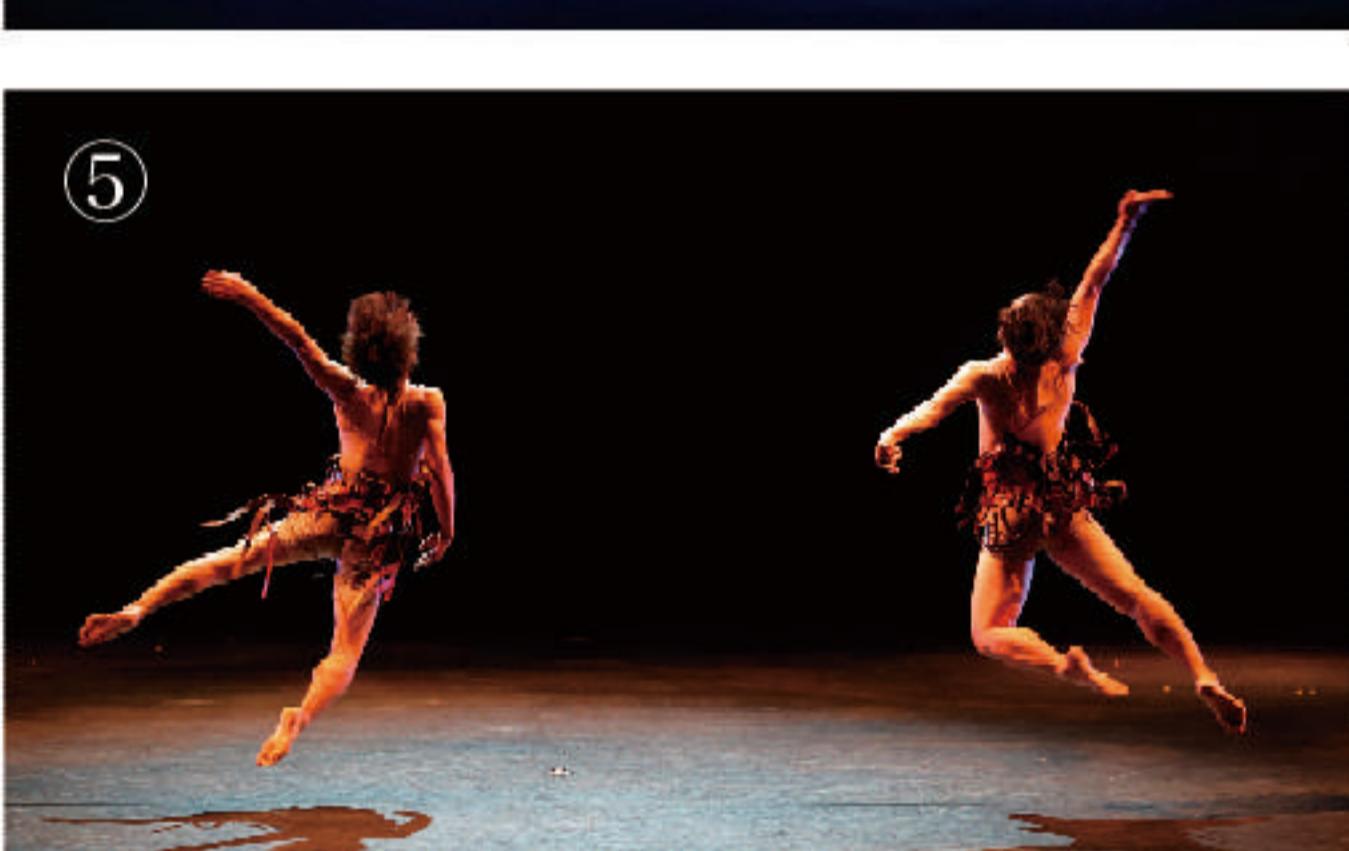
沖縄での劇場の公演は私達のダンスを違った視点から見て頂く事が出来、様々な感想も頂き、沢山の貴重な繋がりを感じる事が出来ました。また充実したスケジュールの中、贅沢な時間を過ごさせ頂き今後の舞踊活動の糧となりました。



④たけだ有里作 「揺れる境界線」

出演 板垣明日香 たけだ朱里 原田朋香 鈴木美南 たけだ有里

人との繋がりを深く感じられた「あたたかいひととき」でした。沖縄の空気や風を全員が同じ空間で浸れたこと。そのことが語らずとも共感でき、心が夢見心地であたためられていく感覚がありました。本番ではダンサー全員がその気持ちをエネルギーに変えて発していることを実感しました。皆が同じ空気に浸り、同じ気持ちを共感し、『結』ばれていますと感じられた「あたたかいひととき」でした。創作し発信できる幸せに改めて感謝します。

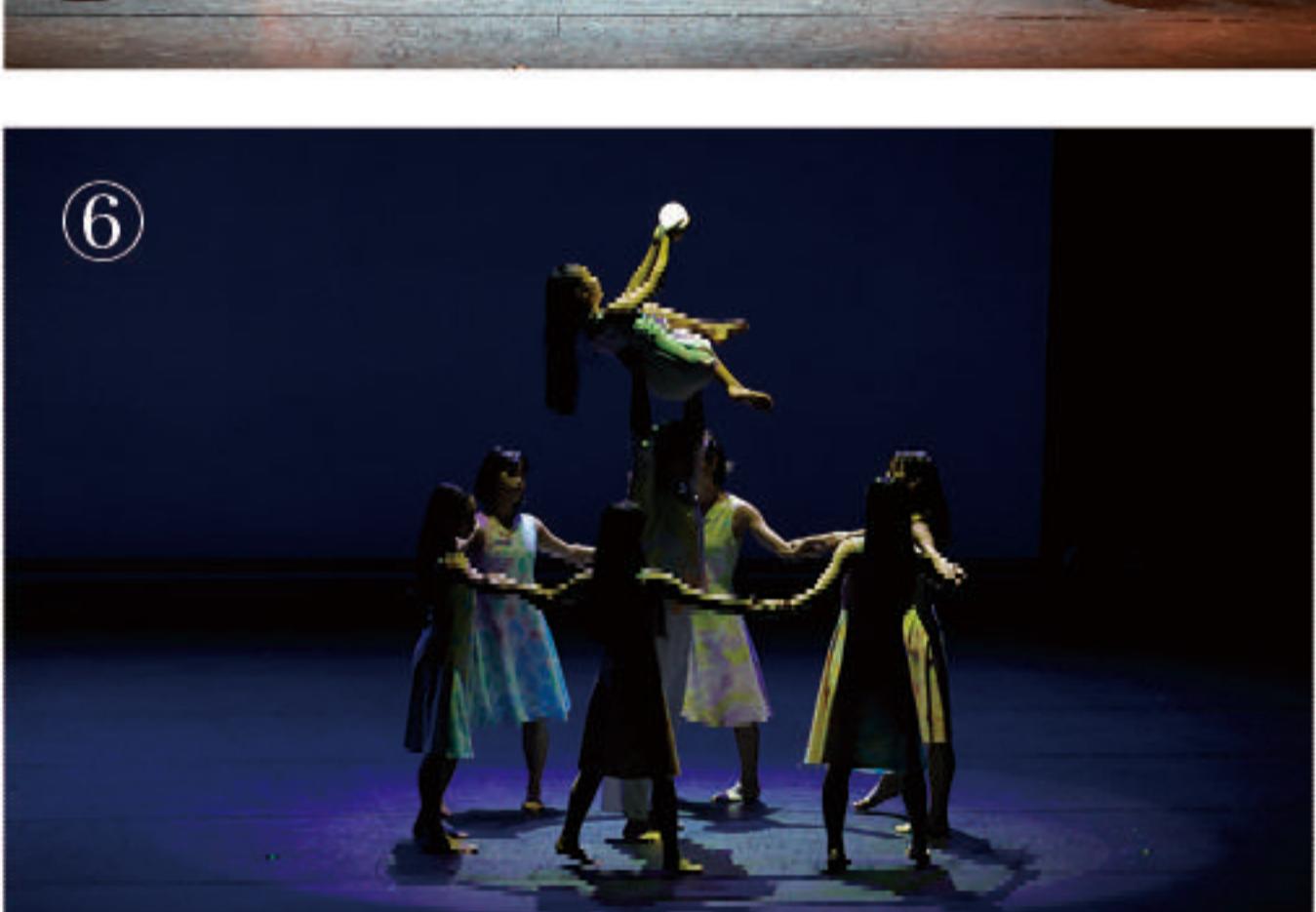


⑤高橋純一作 「期待を胸に 何千年も待っている 樹だった日のこと」

出演 石井武 高橋純一

それぞれの作品を通して言葉にできない肌身で感じる体験と、たくさんの発見がありました。

沖縄での公演を元に再構築をして後に再演をしたいと考えています。貴重な経験をありがとうございました。



⑥鈴木泰介作 「水と風と子供」

出演 須貝紗弓 中村玲音 新田春保 八木美帆 村山藍子 田中樹奈 貢田麗帆 鈴木泰介

笑顔と活気に溢れた公演「結・海と空」、東京から最も遠い国内の地「沖縄 那覇」4日間の現地入りは、その気候・文化の違いを感じ堪能できる幸せな時間でした。閉鎖的な環境を強いられ萎縮する現代において、心を解放し体を躍動させ、人と人を繋ぐまさに地球を包括する魂のダンス。顔を見合せ、言葉を交わす。舞台を創り、夢を描く。当たり前のことが、当たり前のようにできる。奇跡のような体験でした。

協会の存在意義を改めて感じ、人々が集まり協力しあう舞台芸術の根幹を深く考える機会となりました。先生方の温かい励ましのお言葉が忘れられません。この貴重な経験を糧に、さらに意欲的に今後の創作活動を続けます。



⑦久住亞里沙作 「Limit」

出演 佐藤洋介 池田美佳 津田ゆず香 磯結夏 久住亞里沙

コロナ禍で舞台芸術が閉鎖的になっている中、最愛の父を亡くしました。悲しみに暮れる暇もなく双子を出産し、育児に奮闘し、創造する豊かな時間も以前に比べると減っていました。ダンス仲間に支えられて、自身の限界を感じながら、この作品をつくりました。私の心の深い部分が作品に投影されたと思います。『Limit』を発表する事でリフレーミングができ、物事を前向きに考えられるようになり、踊りを続けてきて良かったと心から思える公演になりました。久住亞里沙



⑧櫛田祥光作 「糧」

出演 安岡由美香 堀口由紀子 岡本優香 村上ふみ 田崎真菜 高橋幸穂 櫛田祥光

劇場が持つ空気が、そして空間が「糧」という作品をより美しく、より繊細に際立たせてくれました。

さらに、作品自体が持つ独特の世界観をダンサー達が力強く表現してくれました。

それらは全て、ゆっくりと流れる時間が沖縄という地が作品への集中につながったのではないかと私は思っています。

©スタッフ・テス

芸術監督・総合演出：藤井 香 監修：上原尚美 崎内絹子 栢沢寿美 演出助手：嶋内絹子 栢沢寿美 河上正子 谷乃梨絵 上田仁美 指導：河上正子 原島マヤ 北原弘子

舞台監督：森 荘太 照明：岩品武顕 音響：井上寛文 衣装：宮村 泉ほか

コーディネート:Dance in Deed! コーディネートアシスタント：新野久美子 矢島 茜 宣伝美術：有限会社アームズ 宣伝用絵画提供：わかたけアート（社会福祉法人 若竹福祉会） 記録写真：スタッフ・テス株式会社 映像記録：有限会社テス・ビデオ・ワークス プロジェクト 関係者のための「琉球舞踊講座」講師：冠船流家元 川田禮子

「結・海と空」実行委員会：上原尚美 栢沢寿美 崎内絹子 河上正子 北原弘子 谷乃梨絵 原島マヤ 藤井 香 上田仁美 矢島 茜



▲始まりと包括（振付：藤井香）

「結・海と空」を終えて 芸術監督・総合演出／実行委員 藤井香

「結・海と空」の公演を終えて、感謝の言葉を伝えようと携わった方々を辿って行くと、その名前を挙げるだけで1冊の短編小説くらいにはなるでしょう。それだけこの公演では多くの物事が生まれ、人から人へ繋がり、「結・海と空」という小宇宙を作ったように思います。始める前には予想だにしなかった《アートキャラバン事業の人々にもたらす波動》ではないでしょうか。

それを踏まえ（名前を出し始めると收拾がつかなくなる為）、ここでは個人名を出さずに書き進めたいと思います。

このような波動の中で一番心を揺さぶられたのは、やはり埼玉全国舞踊コンクール創作舞踊部門第1位受賞の8名の振付家たちとの出会いでしょう。他者に迎合することなく、ひたすら自身の舞踊を探求し、より完成度の高い方へと邁進する彼らの姿勢は、《様々な事象の中で生きようとする真摯な命》となって作品に投影され、観客を魅了しました。そして、それを支え、実現していくダンサーたちの造詣の深さに胸を打たれたことは言うまでもありません。

また、今回の事業には、埼玉県舞踊協会だからこそ生まれたいくつかの特徴がありました。

その一つ目は、半世紀以上の歴史を持つ埼玉全国舞踊コンクールから抜擢されたコレオグラファーに振付を依頼した点です。

二つ目は、沖縄県での上演にあたり、コレオグラファー、ダンサー及びプロジェクト関係者等が「琉球舞踊講座」の受講により、理解を深めた上で事業を展開した点です。これは当協会のアウトリーチプロジェクト「コレオグラファーの目」に於ける、「『場』やコラボレーションへの考察を深める企画（狂言ワークショップ、能楽堂見学会、座禅＆お香講習会等）」の積み重ねが土台となっています。アーティストのアイデンティティーを培い、将来の飛躍を生み出す為にも、今後も必要なステップになるでしょう。

三つ目は、沖縄の障害者アート作品をチラシのメインデザインに起用した点です。これは当協会主催の「ドキドキ♡ワクワクフェスティバル～すべての世代に小さな驚きと感動を！～」に於いて、高齢者や障害のある方々をご招待し、〈3種のワークショップ〉や〈子供たちによるバレエ・モダンダンスフェスティバル〉、〈コンクール上位入賞者披露公演〉を楽しんでいただいた経験が、このデザイン案の具体化を推し進めたように思います。

这样に協会が積み重ねてきた事業の数々が、新しい視点や発想と繋がり未来を構築していく様を、この事業に関わることであります。目にすることができたのは幸運だったと思います。

そして、今回、この波動の中心となった埼玉県舞踊協会は、本事業を機に法人化され、新たなステージに載ることとなりました。この事業から得た大量の知識と経験、再認識された当協会の持つ《揺るぎない舞台芸術への敬意》を携えて、今後も活動して行くことになるでしょう。

最後になりましたが、文化庁、及び統括団体としてお骨折り頂いた一般社団法人現代舞踊協会、そしてこの事業に関わり、或いはそばで見守って下さった全ての方々に感謝し、パソコンの電源を落としたいと思います。



舞踊評論家 池野恵

少しづつ春の兆しが感じられるようになった桃の節句に、埼玉県舞踊協会発足以来継続してきたフェスティバルが開催された。副題に「伸びゆく彩の国さいたまの子どもたちによる」と記されているように、協会会員スタジオの子どもたちを中心とした日頃の成果発表の場である。

第一部には、昨夏に行われた第55回埼玉全国舞踊コンクールの上位入賞者披露として、クラシックバレエとモダンダンス各部門から2部（児童）、ジュニア部の総勢11名が出演した。近年は、2部（児童）の出場者の成長が著しく、ジュニア部と言っても通用しそうな体格としっかりとした技術を持ち合わせている場面を少なからず目にする。クラシック2部の2名は、ともにゆとりある演技で華もあり、将来性を感じさせた。モダン2部は、藤堂あさひの『蒼き空に描く詩』が、感受性豊かに大人びた表現で完成度も高い。クラシックジュニア部は、成長期ゆえのコントロールに少々の課題を残す男子に比べ、為井華の『サタネラのヴァリエーション』が、小柄ながらも余裕の演技で圧倒した。モダンジュニア部は、動きの変化よりも音楽をじっくり聴かせる落ち着いた表現が目につき、2部との差異も明らかに成長の跡を窺わせた。とりわけ高野凜の『籠のなかの鳥』は、ドラマチックな展開で深い表現力が印象に残った。

休憩を挟んでの第二部は、テーマ性や音楽性を前面に打ち出したもの、また児童には親しみやすいテーマパーク・ダンス等、多彩な作品が披露された。

まず studio AMuse 新野舞踊研究所による『Hélios～祈りの舞と祝福の歌～』。プリミティブな要素を取り入れた群舞による太陽賛歌が、幕開けにふさわしい祝祭空間を彩った。すゞきさよこモダンダンススタジオによる『カノン～子どもたちの光あふれる未来のために～』は、世代の異なる子どもたちが次々と花束を抱えて登場して希望を抱くことの大切さを示した。川名今朝美モダンバレエスタジオの『land of innocence～芽吹きの森』は、人生の四季を感じさせる演出と大きな葉を持った子どもたちの姿がほのぼのとさせた。井上美代子バレエスタジオの『華麗なる大円舞曲』は、ショパンの名曲に順を追ってステップが進んでいくシンプルな構成。まっすぐな列から一步を踏み出す子どもたちが清々しい。

中村友美・上田仁美モダンバレエの『花かげ』は、変化に富んだ曲で展開するリズム感が心地よい。細川初枝モダンバレエスタジオの『宴～酔いのヨイヨイ～』は、白×黒、白×赤の組み合わせも鮮やかな衣裳に小さな楽器を手にした子どもたちのダンス、それに太鼓の響きや三味線の音色がリズミカルに重なり、お祭りのような賑やかさ。705+Dance Lab は、西村葵構成・振付の『カンフーマスター』『青のワルツ』が、趣向を凝らした表現と曲の組み合わせに意外性があり、ダンスの楽しさを広げた。マヤバレエスタジオの『イースターの秘密』は、原島マヤ構成・振付の児童の動きがテーマパーク風ながらもほのぼのとした味わい。藤井・上原モダンバレエスタジオの『今日も市場は大騒ぎ』は、魚や野菜、肉、包丁、買い物カゴ等、生活に密着した小道具を使いながら子どもたちの無邪気な様を通じてユニークなダンスの楽しさを伝えた。文月玲バレエスタジオの『魔法使いの弟子』は、アニメ映画から着想を得て、バケツの水の叛乱が連鎖する様子と魔法使いの登場でその場を収めるまでを描いた。谷乃梨絵モダンバレエスタジオ『プクプク金魚ちゃん』は、カラフルな衣裳も可愛いアンサンブル。『くるみ割り人形』やオッフェンバックの曲を抜粋しつつ、泡の弾ける音や猫の鳴き声等を挿入しながら創意工夫に富んだ内容で楽しませた。締めくくりは、窪内絹子 & YOKO モダン・バレエスタジオの『おいしいおいしいあんころ餅のうた』。あずき色のブルマ型ワンピース、白衣の職人が登場するダンスは、リズムを身体で表現するというファースト・ステップにふさわしい振付で心の底から和ませてくれた。

少子高齢化の一途をたどる今日に、多くの子どもたちの元気で明るい表情が希望を感じさせる意義深い公演であった事に感謝したい。

埼玉のバレエ・ダンス教室による熱演

©スタッフ・テス



① studioAMuse 新野舞踊研究所
「Hélios～祈りの舞と祝福の歌～」



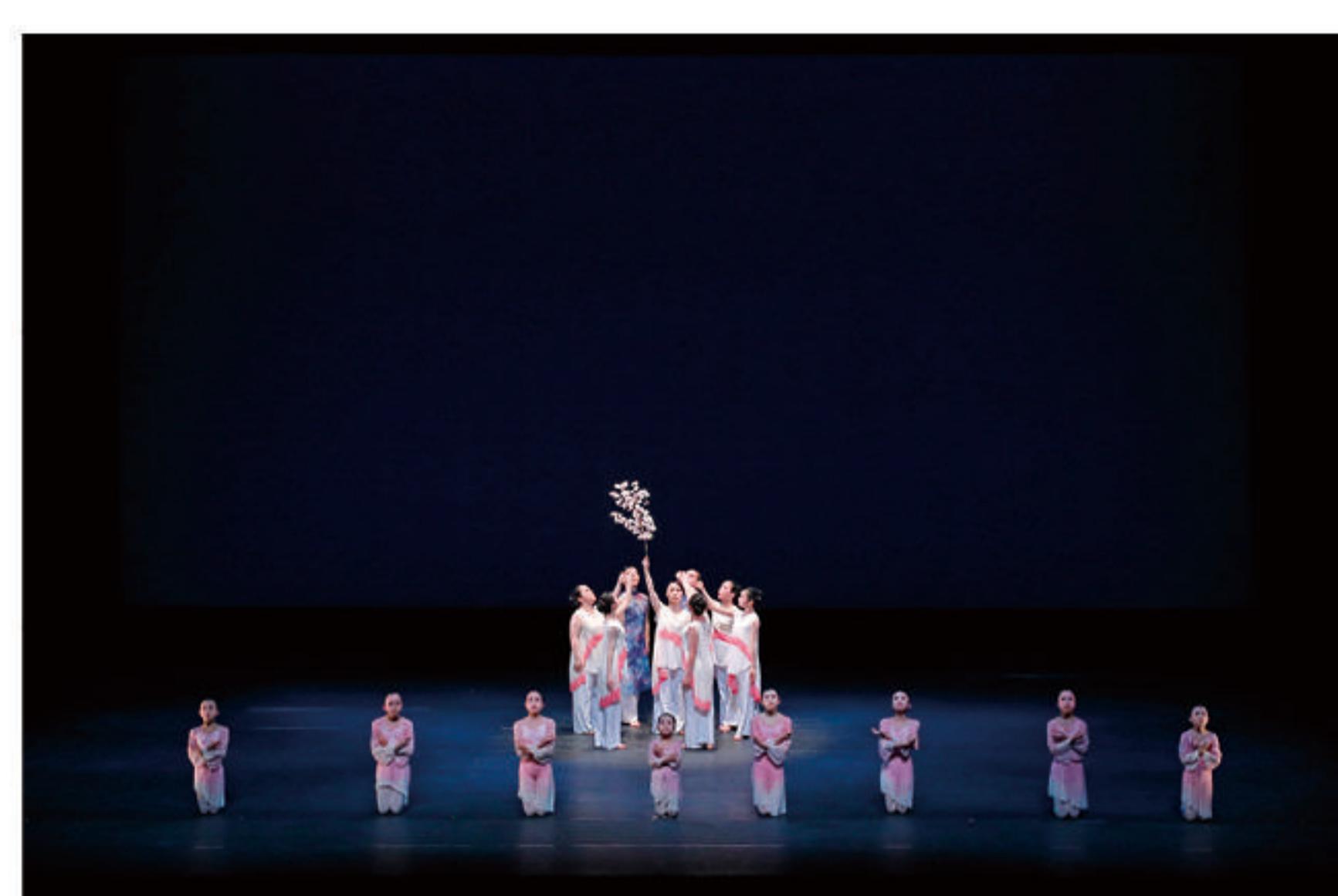
②すゞきさよこモダンダンススタジオ
「カノン～子どもたちの光あふれる未来のために～」



③川名今朝美モダンバレエスタジオ
「land of innocence～芽吹きの森」



④井上美代子バレエスタジオ
「華麗なる大円舞曲」



⑤中村友美・上田仁美モダンバレエ
「花かげ」



⑥細川初枝モダンバレエスタジオ
「宴～酔いのヨイヨイ～」



⑦ 705 + Dance Lab
「カンフーマスター」



⑦ 705 + Dance Lab
「青のワルツ」



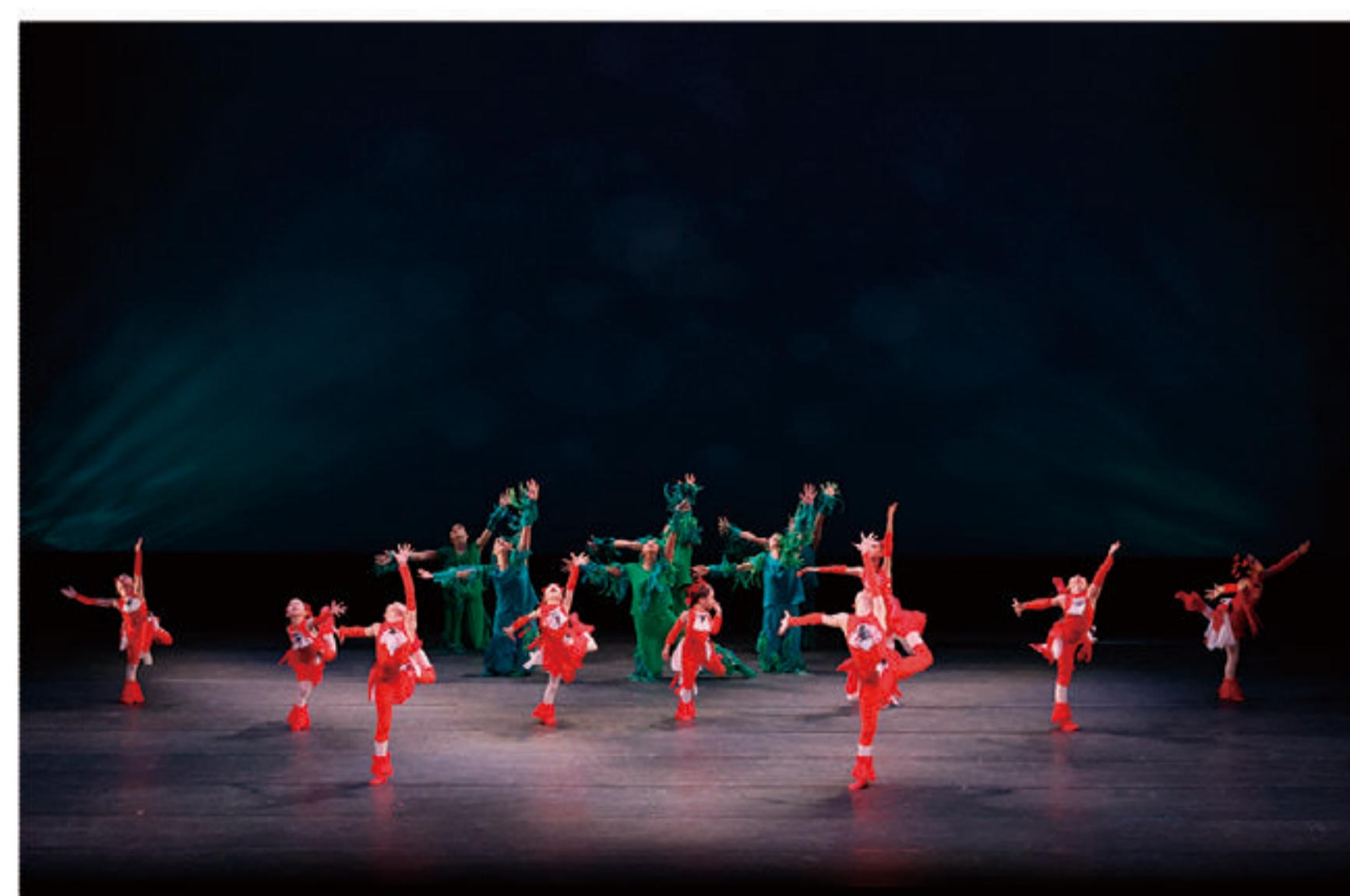
⑧マヤバレエスタジオ
「イースターの秘密」



⑨藤井・上原モダンバレエスタジオ
「今日も市場は大騒ぎ」



⑩文月玲バレエスタジオ
「魔法使いの弟子」



⑪谷乃梨絵モダンバレエスタジオ
「プクプク金魚ちゃん」



⑫窪内絹子& YOKO モダン・バレエスタジオ
「おいしいおいしいあんころ餅のうた」

👑 第 55 回埼玉全国舞踊コンクール上位入賞者披露 👑



クラシックバレエ部門2部(児童)
第1位 金井さらさん
「アルレキナーダの Va」
(eye ballet studio)



モダンダンス部門2部(児童)
第1位 金子衣織さん
「哀歌」
(佳恵バレエスタジオ)



クラシックバレエ部門ジュニア部
第1位 為井華さん
「サタネラの Va」
(アクリ・堀本バレエアカデミー)



モダンダンス部門ジュニア部
第1位 高野凜さん
「籠のなかの鳥」
(705+Dance Lab)

芸術文化ふれあい事業



モダンダンスの授業をしてきました！ 青木りえ（文・写真）

この事業は、学校の授業や放課後の活動、他にも地域の体験学習などの県内で実施される催しに文化団体を派遣するものです。

昨年 10 月 19 日児玉郡上里町神保原町にある社会福祉法人 上里福祉会「めぐみ保育園」に於いて、きりんさん組・ぞうさん組の園児 21 名と途中から下のクラスの有志 5 名の計 26 名にモダンダンスの授業をする機会をいただきました。

お伺いするまでは、埼玉県舞踊協会の[動けるからだ・表現を楽しむ]をテーマにしておりますので、幼いお子様にも分かる指導や話し方が出来るか？どうやったらダンスを楽しんでもらえるか？などの事に頭を悩ませながらの授業当日となりました。まず、私が自己紹介と挨拶をいたしましたら、園児さんから元気の良い「お願ひします！」の声が返って來たので、大変勇気付けられ 1 時間半の授業をスタートいたしました。

お伺いするまでは、埼玉県舞踊協会の「動けるからだ・表現を楽しむ」をテーマにしておりましたので、幼いお子様にも分かる指導や話し方が出来るか？どうやったらダンスを楽しんでもらえるか？などの事に頭を悩ませながらの授業当日となりました。まず、私が自己紹介と挨拶をいたしましたら、園児さんから元気の良い「お願ひします！」の声が返って來たので、大変勇気付けられ1時間半の授業をスタートいたしました。



- ① ストレッチとセンター動作（動物・野菜などになりきって動く） 40分間
- ② 「チューリップ（45秒作品）」の踊りを覚えてもらい、最後のポーズは各自考える 10分間 水分補給 10分間
- ③ 最後のポーズを1人1人確認し再度「チューリップ」の踊りの練習をする 10分間
- ④ 5グループによる発表会 10分間

グループの発表ごとに、お客様の園児さんは「がんばれー！」の応援、出演者は「はい！」と手を挙げてからスタートし大盛り上りました。

先生方のご協力のおかげで参加者全員が最後まで集中し笑顔で無事終了する事が出来ました。終了後、園児さんが造花のチューリップを積極的にかたずけてくれたり、わざわざ私の元へ「楽しかった！」「教えてくれてありがとう！」「帰らないでよ！」と言いに来てくれて、日頃から先生方の行き届いたご指導の賜物と私も大変参考になりました。

又、実施の季節は秋だったので、チューリップの造花がショップではなく理事の先生方にご協力いただきました事、改めて御礼申し上げます。

おめでとうトピックス



其の7

今回は、一般社団法人 埼玉県文化団体連合会が顕彰する「第56回埼玉県文化団体連合会文化選奨」を受賞された河上正子先生にお話を伺いました。

1980年代後半に埼玉県舞踊協会の理事に最年少で就任なさった河上先生。

以降、協会の企画運営を支え続け、現在は埼玉全国舞踊コンクール実行委員長及び協会の経理という過酷な仕事を担っていらっしゃいます。その河上先生に

受賞の知らせを受けた時の気持ちをお聞きすると、「推薦文を書いて下さった（藤井）利子先生に感謝しました！！皆さん、利子先生が推薦文を書いて下さっていることをご存じないでしょう？だからこの事を絶対に書いてほしい！」と、組織的視点を含む感謝の言葉。ならば…と思い協会について思う事をお聞きすると、3つの事を話して下さいました。まず1つ目は、会計として思う事。

「勿論、結果的に赤字は補填するんですけど、公演の予算計画を立てる時は、まずコンクールの収入を当てにしない計画を考えて欲しいのです。」と、経理としての切実な言葉。

2つ目は、外部のバレエ関係者から見た協会のイメージ。

「外部のバレエの人にとって、埼玉県舞踊協会はモダンダンスの協会と思われているのです。

クラシックバレエ作品の上演が無いから、一般の人はそう思はんじやないでしょうか…。

クラシックも頑張っている所を見せたいなあ、と思います。」と、協会を俯瞰した目で捉えます。



そして3つ目は、なかなかお会いする機会のない協会員へのメッセージ。

「会費を払って下さっているのに、協会の事業を活用なさらない先生方が大勢

いらっしゃるでしょ？コロナで新年会もできなくなってしまったから尚更ですよね。

ぜひ事業に参加して、埼玉県舞踊協会を活用してほしいと思います。」

確かに、ぜひ参加していただき、発見や喜びを分かち合いたい…。

一貫して協会を俯瞰して見ながら答えてくださる河上先生。



最後に先生がどのようにバレエとい向き合っていらっしゃるのか



お聞きすると、「好きでやってただけ。足は内向きだし生徒も少ないけど、

なんで続けているのかっていうと、バレエが好きだから！！」

と、満面の笑顔で答えてくださいました。

俯瞰した目を持つ重要性と、続けていく勇気をいただいた
インタビューでした。

2024年2月5日のインタビューより K.F





「第48回埼玉県文化振興の集い」に参加して

上原尚美（文・写真）

令和6年2月3日（土）13時30分～16時 埼玉会館大ホール

毎年、（一社）埼玉県文化団体連合会の主催で開催される。県内で活動する各分野の文化団体が参加。今回のテーマ「水色の季(とき)かがやく」を掲げ、日本舞踊・三曲・吟剣・洋舞踊が饗宴。埼玉県舞踊協会から谷乃梨絵モダンバレエスタジオからユーモアのあるかわいらしい「ハイカラさん初恋騒動の巻」10分作品。藤井・上原モダンバレエスタジオから静寂な「岩清水」尺八演奏 小島朋章山とのコラボによる10分作品。2作品の熱演に観客の皆様より好評をいただきました。

協会からのお知らせ



次回の 第56回埼玉全国舞踊コンクール 2024

◇日程

- 7/27(土)バレエシユーズ部門、クラシックバレエ部門1部予選、
創作舞踊部門予選
7/28(日)クラシックバレエ部門ジュニア部予選
7/29(月)クラシックバレエ部門2部予選
7/30(火)クラシックバレエ部門2部決選
7/31(水)クラシックバレエ部門ジュニア部決選
8/1(木)クラシックバレエ部門、創作舞踊部門決選、表彰式
8/2(金)モダンダンス部門1部予選、トライ部門

【新設!】トライ部門

ソロのみ・ジャンル不問・年齢制限なし！

8/3(土)モダンダンス部門2部予選

8/4(日)モダンダンス部門2部決選

8/5(月)モダンダンス部門ジュニア部予選

8/6(火)モダンダンス部門ジュニア部決選

8/7(水)モダンダンス部門1部決選、表彰式

◇申込 2024年4月11日(木)～4月20日(土)

マイページより受付（協会HPをご覧ください）

ダンスを愛するみなさまを多様な部門でお迎えします！

編集後記

埼玉県舞踊協会ニュース 第57号を発行いたします。協会は令和6年2月1日より、一般社団法人になりました。協会員をはじめ皆様のご協力により、気持ち新たに前に進んでまいります。よろしくお願ひいたします。
広報部：笠原千珂子 山本教子 弓削多淳子 矢島茜

協会員からのお知らせとご案内

細川初枝モダンバレエスタジオ 第22回45周年記念発表会

日時：2024年7月14日(日) 16:00開場 16:30開演（入場無料）
会場：亀有リリオホール
連絡先：090-2907-3986（細川）

バレエ・モダンダンスのジャンルを超えて集う創造の場
埼玉県舞踊協会新進芸術家育成企画 BALLET & MODERN DANCE

第48回 STAGE1

（一社）埼玉県舞踊協会が47年間継続し多くの人材を送り出してきた実績を持つ『ステージ1』が幅広い作品をお贈りします。

2024年6月23日(日)開演13:00／開演17:00
彩の国さいたま芸術劇場小ホール

◇チケット 前売・当日¥3000（幼児から要チケット）

◇2回公演ともに20作品の同じプログラム

13:00公演 第55回埼玉全国舞踊コンクール受賞者披露
クラシックバレエ・モダンダンス・創作舞踊部門
各第1位受賞者による作品披露

17:00公演 第47回ステージ1 Hope賞 /
Performance賞受賞作品披露

総合芸術作品に対して

「ステージ1 Hope賞 / さいたま市教育長賞」

「ステージ1 Performance賞 / 埼玉市長賞」

をお贈り致します。国民文化祭への参加を推薦予定！

一般社団法人 埼玉県舞踊協会

◇ホームページ

<https://www.saitamaken-buyoukyokai.jp>

◇Eメール saitama-dance@blue.ocn.ne.jp

○お知らせ

・次回第58号（2024年10月発行）の
「協会員からのお知らせとご案内」への掲載
は2024年11月～2025年4月のイベント
が対象となります。申込締切は8月末日と致
しますのでお早めに広報までお知らせください。

・舞踊協会総会開催

令和6年5月26日(日)18:00～19:30

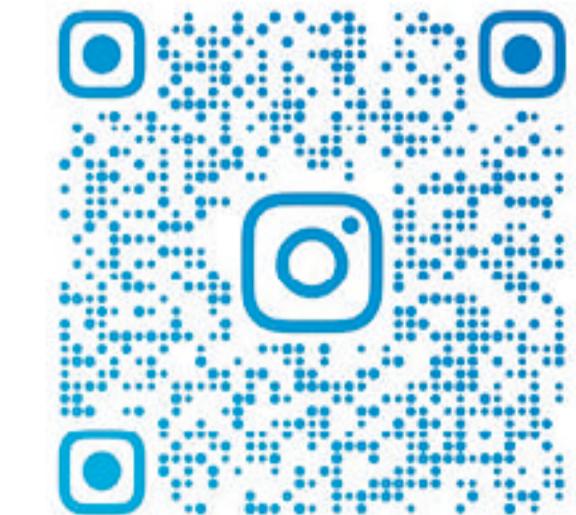
埼玉会館4A会議室にて

(TEL:048-829-2471 代表)

ホームページ



Instagram



@SAI.DANCE1967